

アメリカ 対中制裁原案を発表1300品目 中国は同規模の報復を発表

アメリカ通商代表部は4月3日、アメリカの知的財産を侵害する中国に対し、『通商法301条』に基づく制裁措置として25%の追加関税を課す対象品リストの原案を公表した。

ハイテク製品を標的にした約1300品目で、「総額約500億ドル（約5兆3千億円）となる」。

これに対し、中国国務院(政府)は4月4日、アメリカから輸入する106品目に25%の関税を上乗せする報復措置を発表。

アメリカの追加関税が世界貿易機関(WTO)の基本原則に違反しているとして、WTOに提訴した。

アメリカが中国に追加関税を課す対象は「医薬品」や「産業用機械」のほか、「自動車」「家庭用食器洗い機」など。

アメリカ通商代表部(USTR)は、約500億ドルの関税対象額について「アメリカ経済が受けた損害を考慮すると適当だ」としている。

アメリカ通商代表部(USTR)は、品目リストを確定するため、5月中・下旬に「民間からの意見公募」や「公聴会」を実施。実際の関税発動は6月以降になる、という。

中国に対アメリカ貿易黒字の縮小を求めるトランプ米大統領は、中国側の対応を見極めながら、制裁措置発動の是非を最終決定するとみられる。

トランプ氏は4日、ツイッターに「われわれは中国と貿易戦争をしていない。(アメリカは)その戦争には遠い昔、敗れた」と投稿し、対中貿易赤字に不満を表明した。3日には中国と協議する考えを示していた。



一方、中国の報復関税の対象となるのは「大豆」や「自動車」など。中国商務省によると、対象106品目の2017年の輸入額は約500億ドルに上り、米国の追加関税額に匹敵する。

朱光耀財政次官は4日の記者会見で「新



中国の朱光耀財政次官

中国の成立以来、中国は外部の圧力に屈したことがない」と強調。一方で「貿易戦争は望まない。結果は共倒れになるだけだ」と述べ、交渉による解決を改めて求めた。また、アメリカと中国の両国が現在は「剣を抜いて条件を提示している」段階として、「知的財産に関する問題」で協議に応じる姿勢を示した。

◆ 不思議だなあ、中国の医薬品、中国の「産業用機器」、中国の「自動車」、中国製の「家庭用食器洗い機」なんて使用できるの？

アメリカ人は粗悪品愛好者（マニア）が多いのですね？！

中国のハッキングでアメリカの技術を盗まれていることを追及した方が早いような気がする、けれど・・・？

中国の報復関税に対抗
対中制裁10兆円追加
高関税拡大の検討指示

トランプ大統領はクリントンやオバマの尻ぬぐい到大奮闘!!中国を甘やかし放題だった民主党政権を修正するのも一苦勞というところだろう。

トランプ大統領は「中国の知的財産侵害」に対する制裁措置について、関税対象額を1000億ドル(約10兆7千億円)積み増す検討をするよう通商代表部(USTR)に命じた。

トランプ大統領が追加制裁検討を指示したことについて中国国営通信の新華社

は「国際貿易ルールに対する重大な違反だ」と厳しく批判。

当然ながら“貿易戦争”ならぬ「アメリカ・中国戦争」の恐れが一段と強まってきた。

トランプ大統領は「中国は不正をただすことなく、アメリカの農家と製造業に損害を与える選択をした」と指摘。

制裁に対抗する方針の中国を当然のことながら非難した。

トランプ米政権は、通商法301条に基づいて約1300品目にのぼる中国製品に25%の追加関税を課す制裁案を公表した。これに対し中国政府は、米国からの106品目の輸入品に25%の関税を課す



報復措置を発表し、米中間の緊張が高まっていた。

トランプ政権は、対中関税は「そもそも中国が知財侵害を改めようとしないうちに対する制裁」(USTR高官)と位置づけ、即座にアメリカ製品への関税措置で応酬した中国は「アメリカ合衆国を恫喝(どうかつ)している」と反発するのは当然の事だ。

通商代表部(USTR)によると、検討が指示された関税対象の中国製品については、4月3日公表の関税対象製品リストの原案と同様に、約2カ月間の意見公募などの手続きを経るといふ。

手続き完了までは「関税は発効しない」

が、なにせ習近平中華皇帝は世界のトップに君臨したのだからアメリカのような野蛮人に制裁を加えられるという辱めは受け入れることはできない。

アメリカのトランプ大統領は「中華皇帝」にひれ伏し、貢物をして「貿易をさせてください」とお願いをしなければ**中華皇帝**の面子は丸つぶれだ。

二国間の対立がさらに先鋭化するの間違いがないのだ。

「何がモリトモ」

そんなバカ詐欺師を相手にしないで「専守防衛」で構わないのだから、日本も自衛隊が行動しやすいように憲法を改正すべし。

